

氏 名	松田 祐依
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲第 7246 号
学位授与の日付	2025 年 3 月 25 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Changes in Working Situations of Employed Long COVID Patients: Retrospective Study in Japanese Outpatient Clinic (COVID-19 罹患後症状の患者における就労状況への影響)
論文審査委員	教授 頼藤貴志 教授 光延文裕 准教授 高尾総司

学位論文内容の要旨

本研究では long COVID が日本人患者の就労状況に与える影響について後方視的観察研究を行った。2021 年 2 月～2023 年 12 月に当科を受診した long COVID 患者 846 名のうち、18 歳～65 歳の就労患者 545 名を対象とした。合計 295 名 (54.1%) の long COVID 患者 (年齢中央値: 43 歳、女性: 55.6%) が就労状況の変化を経験しており、295 人の内訳は、休職 220 人(74.6%)、退職 53 人(18%)、時短あるいはなんらかの就労制限 22 人(7.5%)であった。雇用状況への影響は女性で多く、若年者・高齢者では退職率が高い傾向があること、雇用状況に影響のあった患者では、倦怠感、睡眠障害、頭痛、呼吸困難感の症状が有意に多く、QOL の悪化、うつ状態の悪化にも関与していることを明らかにした。本研究から、long COVID 患者の就労状況の変化は、患者の心身両面に悪影響を及ぼしていることが明らかになった。

論文審査結果の要旨

本研究では long COVID が日本人患者の就労状況に与える影響について記述分析を行った。2021 年 2 月～2023 年 12 月に受診した long COVID 患者 846 名のうち、18 歳～65 歳の就労患者 545 名を対象とした。合計 295 名 (54.1%) の long COVID 患者が就労状況の変化を経験しており、295 人の内訳は、休職 220 人(74.6%)、退職 53 人 (18%)、時短あるいはなんらかの就労制限 22 人 (7.5%)であった。対象者の中で雇用状況に変化があったものは女性が多く、若年者・高齢者では退職率が高い傾向があること、雇用状況に影響のあった患者では、倦怠感、睡眠障害、頭痛、呼吸困難感の症状が有意に多く、QOL の悪化、うつ状態の悪化にも関与していることを明らかにした。

委員からは、研究のデザイン、対象者の選択法、結果の解釈、今後の展望など質問をされたが、具体的に回答した。

本研究は、long COVID 患者の就労状況の変化について、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。